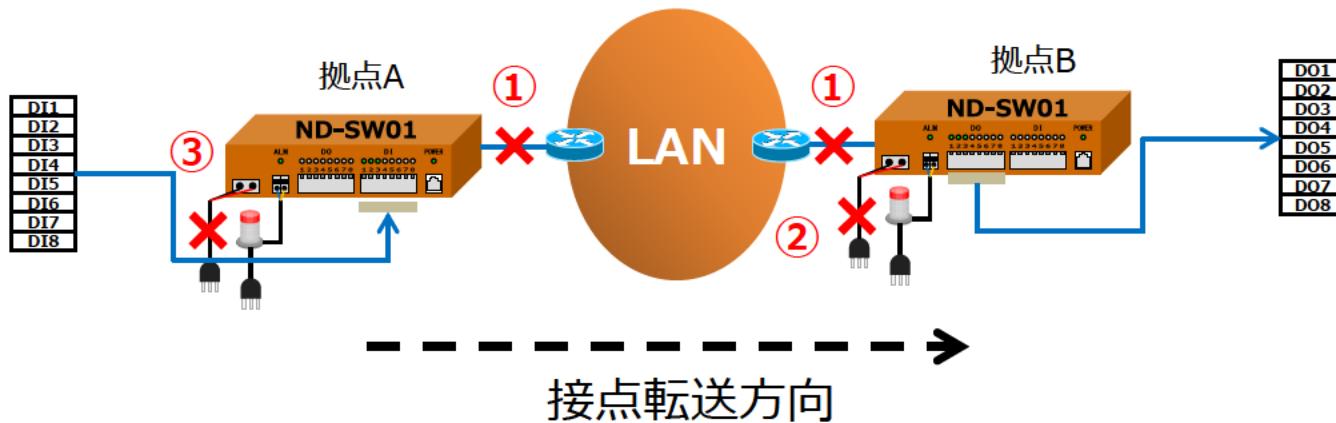


設定例 通信断検知



通信断時の動作状況

故障個所	拠点A ND-SW01#1	拠点A 表示灯P1	拠点B ND-SW01#2	拠点B 表示灯P2
①ネットワーク断	Power LED 点灯保持	消灯→点灯	Power LED 点灯保持	消灯→点灯
②電源断	Power LED 点灯保持	消灯→点灯	Power LED 点灯→消灯	消灯保持
③電源断	Power LED 点灯→消灯	消灯保持	Power LED 点灯保持	消灯→点灯

拠点AのND-SW01設定画面

CEC Network Device Configuration – Windows Internet Explorer
http://192.168.0.200/config/frame/

拠点転送を行う: する (選択済)
ポーリング間隔: 100 ミリ秒
周期転送間隔: 60000 ミリ秒 (赤枠で囲まれている)
リトライ回数: 3 回
リトライ間隔: 500 ミリ秒

転送先 (拠点B) の ND-SW01 の IP アドレスを入力する
IP アドレス: 161 (赤枠で囲まれている)
ポート番号: public

アクション設定:
一括設定 (選択済)
個別設定 (転送先設定 (個別) [設定内容])

接点転送送信 (変化時) をロギングする: する (選択済)
接点転送送信 (周期転送時) をロギングする: する (選択済)
接点転送受信をロギングする: する (選択済)

アクション:
転送エラー発生: 送信しない
転送エラーフリード: 送信しない
転送中断: 送信しない
電子メール: 送信する
遠隔コマンドセット: 実行する 1

設定 クリア

1分(60,000ms)間隔で定期的にDIの入力値を送信
1秒(1,000ms)から50ms間隔で設定可能
(最大値は2,147,483,600ms)
工場出荷は60,000ms

拠点BのND-SW01設定画面

CEC Network Device Configuration – Windows Internet Explorer
http://192.168.200/config.frame/

「する」を選択

接点転送受信タイムアウト設定

チャンネル: [前] 1 2 3 4 5 6 7 8 [次]

接点出力チャンネル 1:

受信タイムアウトを有効にする する しない

タイムアウト時間 120000 ミリ秒

アクション

	トラップ	電子メール	遠隔コマンドセット
受信タイムアウト発生	送信しない	<input type="checkbox"/> 送信する	<input type="checkbox"/> 実行する 1
受信タイムアウト復帰	送信しない	<input type="checkbox"/> 送信する	<input type="checkbox"/> 実行する 1

チャンネル: [前] 1 2 3 4 5 6 7 8 [次]

0から1秒(1,000ms)間隔で設定
(最大値は2,147,483,000ms)
工場出荷は120,000ms

使用する各チャンネル選択して同様に設定する

トップ 設定の保存

接点入力 接点出力 フームLED

接点転送設定

接点転送 接点転送受信タイムアウト

アクション設定

SNMP 電子メール 遠隔コマンド
タイム スクリプト自動実行 定周期ログ
週間スケジュール 期間スケジュール

セキュリティ設定

パスワード ネットワークアクセス制御 ポート番号
ユーザグループ WWWページ認証 WWWページ認証(カスタムページ)

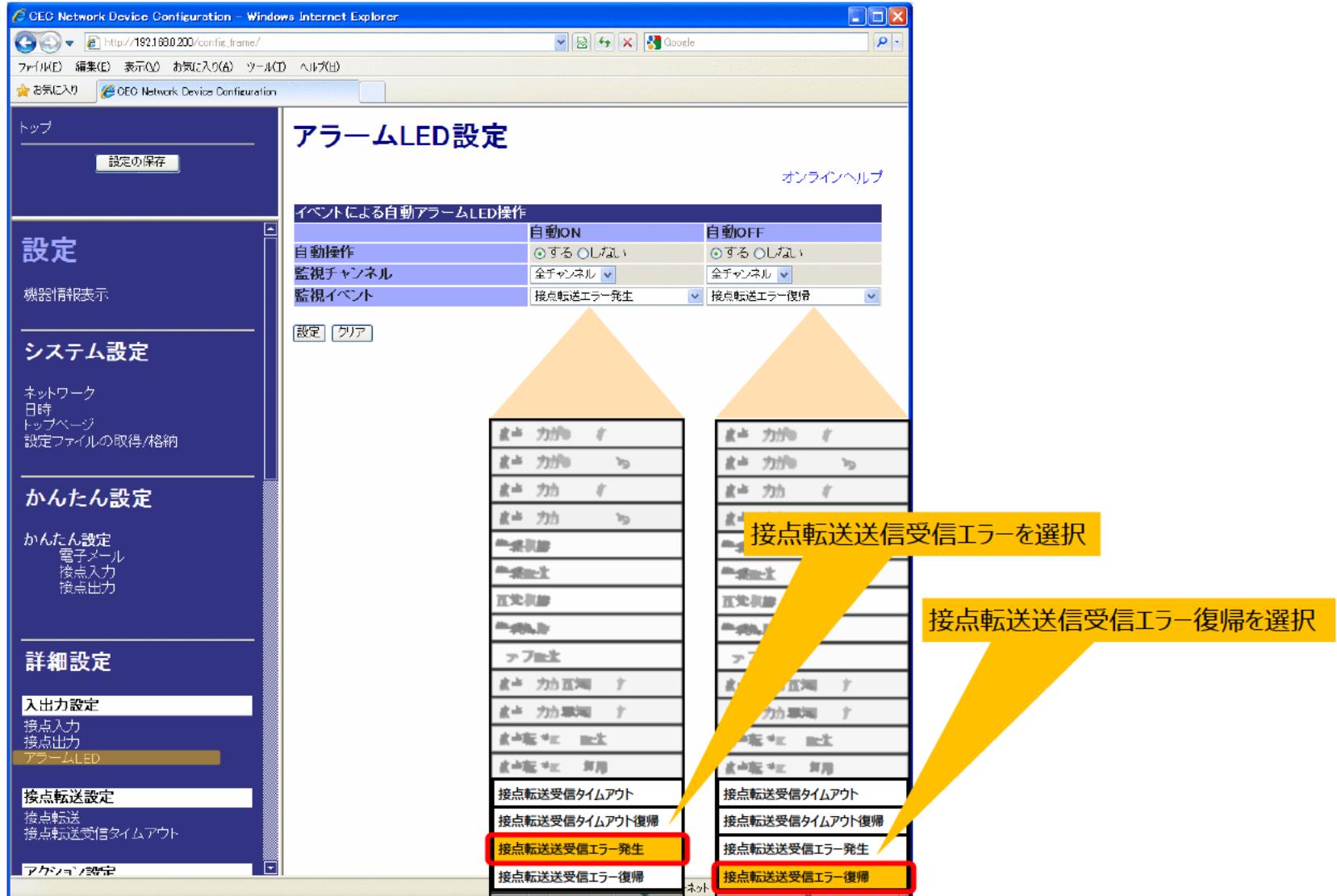
IPsec

セキュリティアンシエーション セキュリティポリシー
IKEフェーズ1 IKEフェーズ2

メンテナンス 再起動 工場出荷時設定

ページが表示されました

拠点AのND-SW01設定画面



拠点BのND-SW01設定画面

